

愛知県

災害時外国人支援活動講座開催等業務

＜報告書＞



令和2年3月

目次

1	業務 概要	・・・ p. 4
2	災害時外国人支援活動講座	・・・ p. 5
	1) 概要	
	2) 第 1 回講座（西三河地区）	・・・ p. 6
	3) 第 2 回講座（東三河地区）	・・・ p. 12
	4) 第 3 回講座（尾張北部地区）	・・・ p. 18
	5) 今後に向けて	・・・ p. 24

1 業務概要

■業務名

災害時外国人支援活動講座開催等業務

■業務目的

愛知県は「あいち多文化共生推進プラン 2022」において、言語や文化、国籍のちがいに関わらず、誰もが防災に関心を持ち、災害時には互いに支え合う『「多文化防災」の推進』を掲げている。今年度は昨年度作成した「多文化防災ガイド」を広め活用を促すこと、「多文化防災」への理解を深めることを目的に、大規模災害時に外国人県民への対応を直接行う市町村職、市町国際交流協会職員及びボランティアなどを対象に「多文化防災」の講座を開催する。

■業務内容

災害時外国人支援活動講座の開催

2 災害時外国人支援活動講座

1) 概要

■趣旨

東日本大震災以降、平時はもとより災害時においても、外国人住民は支えられる側だけでなく、支える側にもなることが認識され始めた。しかし、今もなお、災害ボランティアとして外国人住民が参加することを想定していない市町村がある。また、外国人住民の主体的な参加を、どう促していくのか模索しているという話も多く聞く。そこで、大規模災害時に外国人住民の対応を直接行う市町村・市町国際交流協会職員、NPO やボランティアなどを対象に、「多文化防災」の視点から外国人支援活動について学ぶ講座を開催する。今年度は、2018 年度に愛知県が作成した『多文化防災ガイド』を用いて、実際に避難所で想定される外国人対応について学ぶとともに、外国人住民を取り巻く状況を正しく把握し、外国人を含めた多様な主体と連携するために、どんな点が重要なのかについて考える。

■対象者

市町村職員（多文化共生・国際交流担当者、防災担当者、消防担当者）、市町国際交流協会職員、市町村社会福祉協議会職員、災害時外国人支援ボランティア、その他災害時に外国人対応をする方、避難所運営に関わる方（自治会担当者）など

■開催場所

西三河地区、東三河地区、尾張北部地区で各 1 回

■定員

西三河地区：70 名程度 東三河地区：50 名程度 尾張北部地区：40 名程度

2) 第 1 回講座（西三河会場）

■日時

令和 2 年 2 月 7 日（水） 13:00～17:00

■会場

刈谷市民交流センター（刈谷市東陽町 1 丁目 32 番地 2）

■参加者

55 名（報道関係者 1 名を含む）

* KATCH キャッチネットワーク



（講義の様子）

■プログラム

西三河会場

13:00～ 開会挨拶

13:05～ 第1部 講演会

「災害時外国人支援に関する基礎知識」

- ・過去の災害からみる課題と解決策
- ・支援の担い手としての外国人
- ・「災害時多言語表示シート」等各種支援ツールの活用

土井佳彦（多文化防災ネットワーク愛知・名古屋）

<質疑応答>

「愛知県災害多言語支援センター」の機能と役割

愛知県 多文化共生推進室 職員

<質疑応答>

15:05～ 休憩

15:20～ 第2部 ワークショップ

- ・多文化防災ワークショップ（仙台観光国際協会）
- ・「やさしい日本語」でのコミュニケーション
- ・『多文化防災ガイド』の活用

安藤郁美・長尾晴香（多文化防災ネットワーク愛知・名古屋）

<質疑応答>

16:50～ まとめ、閉会あいさつ、アンケート

17:00～ 閉会挨拶

■ アンケート集計結果（回収数 50 件 回収率 93%）

西三河会場

【回答者属性】

行政職員	18
市町国際交流協会職員	2
市町村社会福祉協議会職員	3
民間、NPO 団体等（主な活動が多文化共生または国際交流である方）	1
民間、NPO 団体等（上記以外の方）	6
ボランティア・個人（主な活動が多文化共生または国際交流である方）	4
ボランティア・個人（上記以外の方）	7
その他	7
無回答	2

1. 本日の講座全体について

大変有意義だった	29
有意義だった	16
普通	3
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
無回答	2

【評価の理由】

- グループワークでの話し合い。多くの方の意見を受けた。様々な情報収集、手続きを教えていただけた。
- 参考になる Web サイトを多数教えていただきました。明日からセンターに表示しようと思います。
- 理解が大きく進んだ。

2. 第1部講演会について、いかがでしたか。

西三河会場

2-1. 「災害時外国人支援に関する基礎知識」

よく理解できた	34
理解できた	15
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
無回答	1

2-2. 「愛知県災害多言語支援センター」の機能と役割

よく理解できた	19
理解できた	23
あまり理解できなかった	5
理解できなかった	0
無回答	3

【意見・感想等】

- 紹介いただいたアプリを利用して、案内等していきたいです。
- 「どこに外国人が集まるか」を知ることが大切だとわかりました。多言語表示シートもそろえようと思います。
- 外国人の方々がどんなことが困っているのかよく分かりました。
- 支援に関する基礎知識は大変よく理解できました。外国人は若く力もあるので、日本人の若い人たちと協力して、普段からコミュニティを作ることが大切だと思った。

3. 第2部ワークショップについて

西三河会場

多くの気づきが得られた	27
少しの気づきが得られた	19
気づきが得られなかった	1
無回答	3

【意見・感想等】

- やさしい日本語は、日本人にもやさしいので使用していきたい。
- 外国人のためのツールがたくさんあって参考になりました。
- 1部での講座でかなりの情報を得る事ができたので、2部ではさらに細かく説明されていて理解が深まった。

4. 今回の講座を受講して、災害時の外国人支援に関して得た気づきや、質問、今後実施取してもらいたい研修や支援制度など、どのようなことで結構ですので教えてください。

- 防災訓練や啓発活動の参考になりました。多文化防災ガイドは活用させていただきます。
- 全国の参考になる事例やツールを是非活用したい。
- 他の市町村で外国人をとりこんだ訓練の実例をもう少し詳しく教えてほしいです。
- 支援するだけでなく協力してもらえる仕組みやコミュニケーションを通じて行うことが大切だと感じました。ありがとうございました
- 外国人でも一旦理解すれば「戦力」となる。これはなるほどと感じた。
- 外国人向けの災害情報ソースが沢山聞けました。また自分がボランティアをしている豊田市のレベルもよくわかりました。



(ワークショップの様子)

3) 第2回講座（東三河会場）

東三河会場

■日時

令和2年2月21日（金）13:00～17:00

■会場

東三河総合庁舎 301、302 会議室（豊橋市八町通5丁目4）

■参加者

20名



（講義の様子）

■プログラム

東三河会場

13:00～ 開会挨拶

13:05～ 第1部 講演会

「愛知県災害多言語支援センター」の機能と役割

愛知県 多文化共生推進室 職員

「災害時外国人支援に関する基礎知識」

- ・過去の災害からみる課題と解決策
- ・支援の担い手としての外国人

休憩

- ・「災害時多言語表示シート」等各種支援ツールの活用

土井佳彦（多文化防災ネットワーク愛知・名古屋）

<質疑応答>

15:20～ 第2部 ワークショップ

- ・「やさしい日本語」でのコミュニケーション

休憩

- ・多文化防災ワークショップ（仙台観光国際協会）
- ・『多文化防災ガイド』の活用

安藤郁美・椿佳代（多文化防災ネットワーク愛知・名古屋）

<質疑応答>

16:45～ 振り返り、まとめ、閉会あいさつ

17:00～ 閉会挨拶

■ アンケート集計結果（回収数 16 件 回収率 80%）

東三河会場

【回答者属性】

行政職員	9
市町国際交流協会職員	0
市町村社会福祉協議会職員	1
民間、NPO 団体等（主な活動が多文化共生または国際交流である方）	0
民間、NPO 団体等（上記以外の方）	0
ボランティア・個人（主な活動が多文化共生または国際交流である方）	0
ボランティア・個人（上記以外の方）	2
その他	3
無回答	1

1. 本日の講座全体について、いかがでしたか。

大変有意義だった	9
有意義だった	4
普通	1
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
無回答	2

【評価の理由】

- 災害時の外国人支援について知らないことが非常に多く勉強になった。市として考えていかなければいけないことを拾えました。
- 外国人の方の考え方・気持ちを少しだけでも知ることができた。
- 今後活用できそうな情報が多くあった。

2. 第1部講演会について

東三河会場

2-1. 「災害時外国人支援に関する基礎知識」

よく理解できた	12
理解できた	3
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
無回答	1

2-2. 「愛知県災害多言語支援センター」の機能と役割

よく理解できた	9
理解できた	6
あまり理解できなかった	0
理解できなかった	0
無回答	1

【意見・感想等】

- 災害時多言語センターの設置訓練について、仙台市の取り組みを調べて、本市の参考にしたいと思います。
- 防災の部署と、今日学んだことを共有したい。
- これまでの災害の実例も聞け、理解が深まりました。

3. 第2部ワークショップについて

東三河会場

多くの気づきが得られた	11
少しの気づきが得られた	3
気づきが得られなかった	1
無回答	1

【意見・感想等】

- 災害時のことをイメージしてワークショップをすると、不安なことがとても多いと感じられた。
- 現実に起こりえる状況なので、今後のためになると思った。

4. 今回の講座を受講して、災害時の外国人支援に関して得た気づきや、質問、今後実施取してもらいたい研修や支援制度など、どのようなことで結構ですので教えてください。

- 尾張地区でも開催して欲しい。
- 災害時多言語センター設置の詳しく事例を知りたい。
- 避難所に従事する職員向け現場での外国人への配慮など、外国人の実情について情報収集が必要だと感じました。
- 外国語使用による実践対応



(ワークショップの様子)

4) 第3回講座（尾張北部会場）

■日時

令和2年2月25日（金）13:00～17:00

■会場

犬山市役所 202、203 会議室（犬山市大字犬山東畑 36）

■参加者

39 名



（講義の様子）

■プログラム

尾張北部会場

13:00～ 開会挨拶

13:05～ 第1部 講演会

「愛知県災害多言語支援センター」の機能と役割

愛知県 多文化共生推進室 職員

「災害時外国人支援に関する基礎知識」

- ・過去の災害からみる課題と解決策
- ・支援の担い手としての外国人

休憩

- ・「災害時多言語表示シート」等各種支援ツールの活用

土井佳彦（多文化防災ネットワーク愛知・名古屋）

<質疑応答>

15:20～ 第2部 ワークショップ

- ・「やさしい日本語」でのコミュニケーション

休憩

- ・多文化防災ワークショップ（仙台観光国際協会）

- ・『多文化防災ガイド』の活用

安藤郁美・長尾晴香（多文化防災ネットワーク愛知・名古屋）

<質疑応答>

16:45～ 振り返り、まとめ、閉会あいさつ

17:00～ 閉会挨拶

【回答者属性】

行政職員	13
市町国際交流協会職員	2
市町村社会福祉協議会職員	3
民間、NPO 団体等（主な活動が多文化共生または国際交流である方）	2
民間、NPO 団体等（上記以外の方）	2
ボランティア・個人（主な活動が多文化共生または国際交流である方）	2
ボランティア・個人（上記以外の方）	3
その他	0
無回答	2

1. 本日の講座全体について、いかがでしたか。

大変有意義だった	11
有意義だった	14
普通	1
あまりよくなかった	0
よくなかった	0
無回答	3

【評価の理由】

- まだまだ多言語対応していない部分が多く、早くにも手がけていかなければならない。
- 外国人への配慮について理解が深まりました
- 防災部署にいるため専門用語を無意識に多用していることに気づけた。

2. 第1部講演会について

尾張北部会場

2-1. 「災害時外国人支援に関する基礎知識」

よく理解できた	11
理解できた	17
あまり理解できなかった	1
理解できなかった	0
無回答	0

2-2. 「愛知県災害多言語支援センター」の機能と役割

よく理解できた	11
理解できた	15
あまり理解できなかった	2
理解できなかった	0
無回答	1

【意見・感想等】

- 多言語表示の翻訳サイトなどをぜひ活用したい。
- しっかり理解したつもりでも、アプリや紹介されたサイトをじっくり読んで更に理解したい。今回の研修でいろいろな部署が行政の方が動いて下さると良いと願う。
- 誰でも使える“やさしい日本語”は日本人にもやさしいので積極的に使いたいと思います。

3. 第2部ワークショップについて

尾張北部会場

多くの気づきが得られた	19
少しの気づきが得られた	8
気づきが得られなかった	0
無回答	2

【意見・感想等】

- 立場が違くと捉え方が本当に違うと言うことが改めてわかった。
- 国籍、言語関係なく相手の立場に立つことが必要だと思いました。
- 他市町の状況を意見交換できよかった

4. 今回の講座を受講して、災害時の外国人支援に関して得た気づきや、質問、今後実施取してもらいたい研修や支援制度など、どのようなことで結構ですので教えてください。

- 災害時の外国人支援の中で「やさしい日本語」の果たす役割について考えるきっかけになった。
- 外国人に伝えるにはより分かりやすい言葉を用いなければならないと感じた。
- サイト等をまとめて資料にしてくださったので、とてもありがたいです。いろいろな立場の方に伝えていくのはとても重要と感じました。
- 大変有効な講座とワークショップでした。来年度??以降も職員を参加させていただきたいです。



(ワークショップの様子)

5) 今後に向けて

本講座は、参加者アンケートを見る限り、学びの多い意義のある機会だったという評価を得ることができた。運営側も様々な地域や立場の方々との情報共有及び意見交換等から、多くの示唆を得ることができ、有意義であった。また、第2部のワークショップで「多文化防災ガイド」を用いることにより、「多文化防災ガイド」の存在を周知するとともに、外国人を災害時の担い手として捉えること、外国人と共に災害時を乗り越えるために今から取り組めることなどを明確に伝えることができた。参加者が、講座を通して得た気づきと「多文化防災ガイド」を地域に持ち帰り、多文化防災の実現に向けて周りの人や関係部署へ働きかけることが期待される。加えて、本講座には相談員や通訳として活動している数名の外国人の参加もあった。本講座を外国人も参加しやすいよう工夫することで、多文化防災の担い手となる外国人材の育成や、外国人とともに多文化防災について考える場作りにもつなげていきたい。

さらに多文化防災を推進していくためには、この取り組みの継続と、新たな取り組みが必要である。以下に継続目標と、新たな提案をまとめる。

＜今後の多文化防災推進に向けた提案＞

○講座について

1. 本講座と同様の講座を今後も定期的・継続的に開催すること
2. 災害時外国人次対応に当たる可能性があるすべての自治体職員等に講座への参加を呼びかけること
3. 避難所運営を担う地域住民にも講座への参加を呼びかけること
4. 本講座を基礎研修とし、その後の実践的な訓練や具体的な改善等を議論する場づくりにつなげること*
5. 本講座をモデルに、各市町村主催での開催をはたらきかけること*
6. 本講座を外国人も参加しやすいようアレンジし、開催すること*

○「多文化防災ガイド」について

7. 「多文化防災ガイド」とその活用方法を広く周知すること
8. 「多文化防災ガイド」の避難所運営訓練等での活用方法について提案すること*
9. 「多文化防災ガイド」の避難所運営訓練等での活用事例を確認し、HP や SNS 等で広めること*
10. 「多文化防災ガイド」を外国人にもわかりやすいようアレンジすること*

*…昨年提案したが、今年取り組めなかったもの

2020年3月

愛知県「災害時外国人支援活動講座開催等業務」報告書

多文化防災ネットワーク愛知・名古屋